

## 河川事業の再評価概要書

( )は、前回評価時

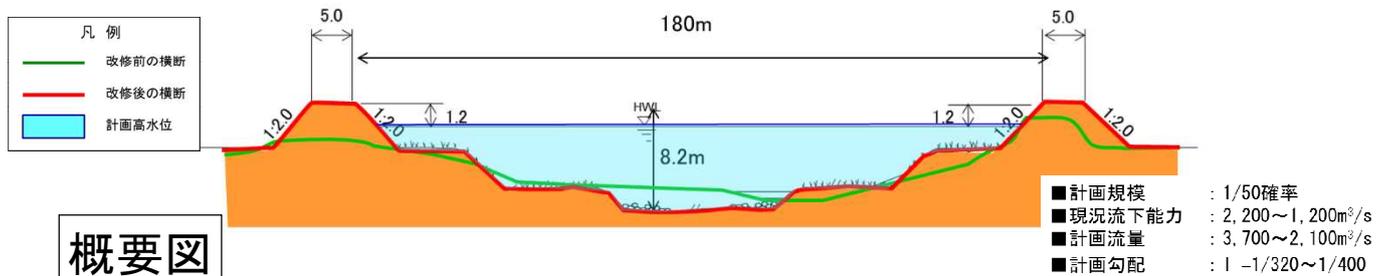
河川事業の再評価概要書			番 号	1
			事業主体	栃 木 県
事業名	安全な川づくり事業		事業主管課	県土整備部 河川課
路河川名	一級河川 <sup>おもいがわ</sup> 思川		事業箇所名	<sup>おやましくもと</sup> 小山市黒本外
事業区間	<sup>おやましくもと</sup> 小山市黒本地先～ <sup>とちぎしつがまちいえなか</sup> 栃木市都賀町家中地先		事業延長	L= 11,400m
H22年度 事業化	H22年度 用地着手		H22年度 工事着手	
事業期間	(R1年度) H22年度～R8年度	事業 進捗 状況	基準年次【令和元年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[ 2.8(2.3)億円] 18.5(16.0)億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[1.0億円] 6.5億円
事業概要				
<p>一級河川 思川は、本県の中央部から南部へ流下しながら、黒川、姿川などの支川が合流し、渡良瀬遊水地に流入する河川である。</p> <p>本事業区間は、姿川合流点（小山市黒本）から雷電橋（栃木市都賀町家中）までの区間であるが、流下能力が不足しているため、豪雨時には宅地や農地等に浸水被害が生じている。</p> <p>このため、本事業は、掘削や築堤等により、河道断面の拡大を図り、氾濫を防止し被害の軽減を図るものである。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の変化、技術革新、事業計画の大幅な変更等				
労務単価の上昇及び消費税の増税				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析		【総便益(B)】	【総費用(C)】	
1) 事業全体	B/C=4.3	82.5億円	19.4億円	[L= 11,400m]
2) 残事業	B/C=6.0	64.8億円	10.9億円	[L= 5,400m]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地や農地等の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
事業延長L= 11,400mのうち、L= 6,000mの区間の整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
用地取得に時間を要していることから、事業期間を7年延伸することで、残る区間の用地取得、及び工事を推進し、令和8年度を目標に事業完了を図る。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
築堤の盛土材について、工区内の発生土を活用し、さらに不足分については、他事業で発生した残土を流用することで、コスト縮減を図る。				
② 代替案立案等の可能性				
遊水地やダム、放水路の計画では、現計画以上に用地取得が必要となり、また、用地取得や工事に要するコスト等を考慮すると、代替案の立案は困難である。				
事業の対応方針（案）		本計画で事業を継続する。		

# 事業箇所(位置図、概要図)

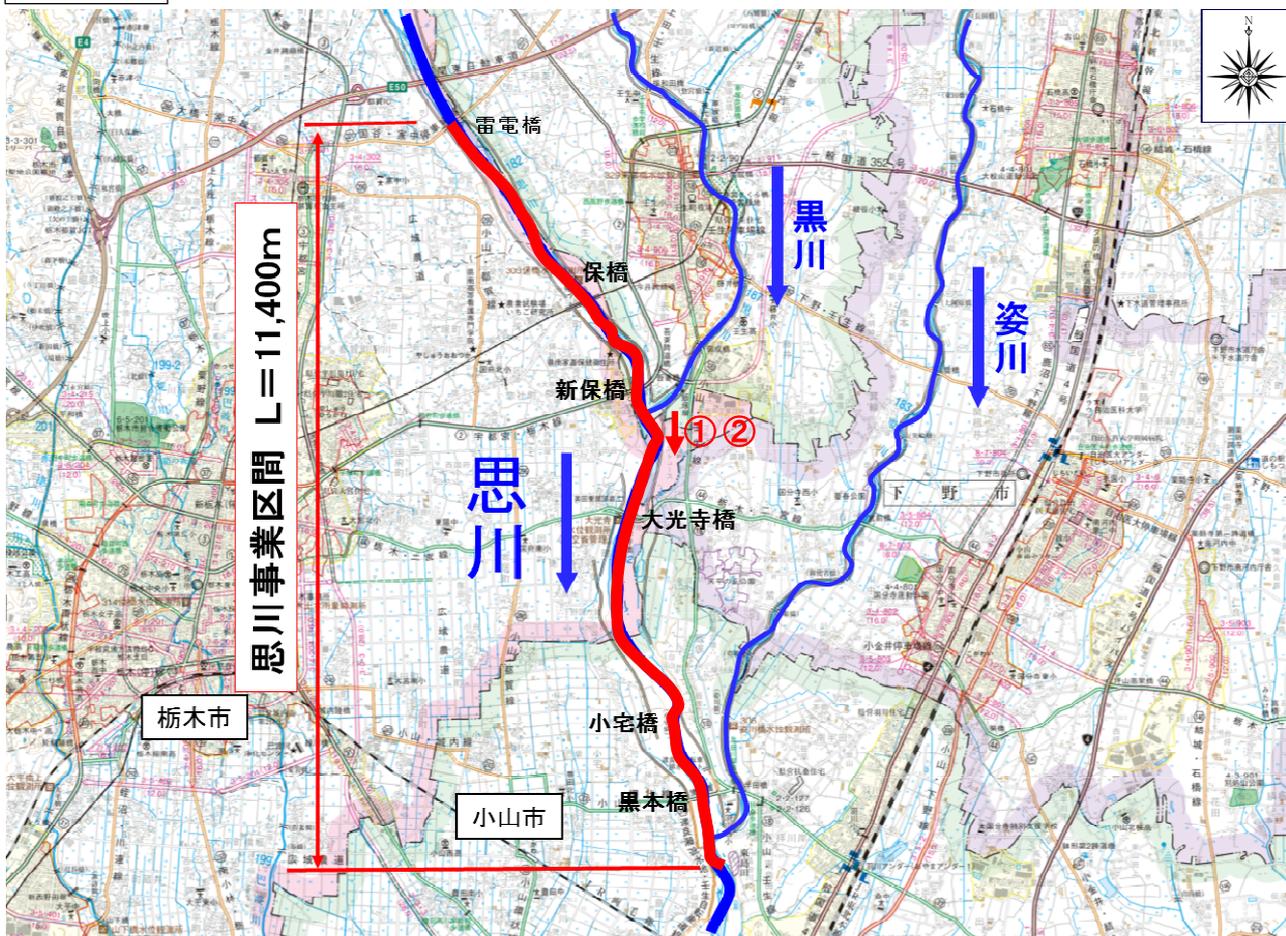
## 位置図



## 標準横断図



## 概要図



①堤防整備前  
黒川合流点下流



②堤防整備後  
黒川合流点下流

